

# 木質文化財研究会2013年 第三回 講演・見学会 スミからスミまで墨を知る 国立奈良文化財研究所

2013年度3回目の講演見学会は、2月22日、国立奈良文化財研究所において、「スミからスミまで墨を知る」をテーマに開催いたしました。

当研究会は、木質文化財の材料として、木そのものだけでなく、竹、紙をはじめとする様々な木質材料を視野に入れており、ますが、今回は、墨そして膠に関する様々な情報を提供いただきました。

宮内庁正倉院事務所の中村力也先生からは、「正倉院に伝わる墨そして膠・接着剤について」と題し、正倉院御物に用いられている膠、漆、接着剤について、主にFTIR（フーリエ変換赤外分光法）による科学的調査の最新の成果などを踏まえてご講演いただきました。



奈良女子大学理学部の中澤隆先生からは、「平城京から出土した墨に残っていた膠—コラーゲンの考古学—」と題して、膠の製法やその歴史に始まり、タンパク質の質量分析法による、平城京から出土した墨の分析結果など、最新の研究成果についてご講演いただきました。

その後、講演会の企画“墨”と合わせ、国立奈良文化財研究所に所轄されている、重要文化財指定の出土木簡および墨を見学させていただきました。

改めまして関係者の皆様にお礼申し上げます

